

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5 年 5 月 30 日

大阪府知事 殿

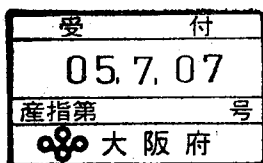
提出者 株式会社ワールド

住 所 大阪府茨木市宮島3-3-27

氏 名 代表取締役社長 藤中昌則

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-634-7177



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ワールド
事業場の所在地	大阪府茨木市宮島3-3-27
計画期間	令和5年4月～令和6年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	2122 生コンクリート製造業
② 事業の規模	7億円
③ 従業員数	8名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製造→現場納入→余り生コン・ミキサー車洗浄（産廃発生） →分取機→石・砂（産廃）→委託 →分取機→濁り水→脱水→ケーキ固化（産廃）→委託 →再利用水

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	排出量	2230 t	t
	(これまでに実施した取組) 生コンクリートをできる限り現場で処理していただき、自社での処理を低減するように取り組みました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	排出量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組) できる限り現場での処理に努めます。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 生コンクリートをできる限り現場で処理していただき、自社での処理を低減するように取り組んでいます。汚泥と骨材を分取し、可能な限り個別に処理を委託しています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	170 t	t
(これまでに実施した取組) できる限り現場での処理をお願いしました。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	70 t	t
(今後実施する予定の取組) できる限り現場での処理をできるように努めます。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	全処理委託量	2060 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 可能な限り、納入現場で処理をするように努めた。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート汚泥	
	全処理委託量	930 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 出来る限り、納入現場で処理するようにします。		
※事務処理欄			

図1-1 組織図

